

白井市学校給食共同調理場のアスベスト（石綿）対策について

白井市学校給食共同調理場において、ボイラー排気用煙突の建材にアスベストが使用されていることが新たに判明した。

市では、直ちに大気調査を行うとともに、給食の安全、市民等の安全を最優先に設備の改修等の必要な措置を講じることとしました。

1 原因と対策

① 原因と現状

学校給食共同調理場において、ボイラー用煙突の内部にアスベスト（石綿）が含有する建材が使用されていることが、現地確認や竣工図面等により11月10日に判明した。

現状において、建材の剥離や落下は見られず、11月22日に実施した大気調査では、11月28日に測定結果の速報値が出され、アスベストは不検出となっている。

② 対策の方針

今回の対応については、給食の安全、調理場の従業員の安全、近隣住民の安全、周辺環境の保全など、すべての安全・安心を第一に事前の措置を講じる。

また、学校給食は、児童生徒や保護者の負担とならないよう1日たりとも欠食させないよう早急な対策を講じる。

③ 対策の概要

建築基準法において、アスベスト（石綿）を含有する建材等にあつては、増改築時に除去等を義務付けているが、今回の措置は、設備の改修として実施するものである。

また、現状において、アスベストの飛散はないが、安全・安心を最優先に考え、煙突の使用中止と設備の改修を速やかに行う。

・現在使用している煙突は、速やかに使用を中止し、アスベストが飛散しないよう、煙突の入口と出口及び点検口の3箇所を金属板（ステンレス板）で覆い、シール材で遮蔽し、完全に密閉する。

・給食の調理に影響がないようボイラー設備の改修を速やかに行う。内容は、2基あるボイラーそれぞれに個別に新たなステンレス製の排気筒を直接接続し、機能の確保を図る。

・工事は、給食の提供に影響がないよう冬休み期間中に実施する。工事期間は2週間程度を見込んでいます。

④ 事業費

事業費は、設備改修等工事費で約380万円を見込んでいます。

2 アスベスト含有建材の概要

製造元：日本インシュレーション（株）（旧・大阪バッキング製造所）

商品名：煙突用石綿断熱材 ハイスタック（丸形）半円筒型の成形材

製造期間：1978～1984年（昭和59年）

アスベスト含有率：6.8パーセント（茶石綿（アモサイト））

（参考：北海道の事例では、下記の建材であったと聞いている。）

商品名：煙突用石綿断熱材 カポスタック

アスベスト含有率：70～80パーセント（茶石綿（アモサイト））

問い合わせ先：学校給食共同調理場

電話 047（492）1081 担当：中島

